

令和7年度 学校評価アンケート（生徒・教師・保護者）の結果

4段階評価【 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する 】

評価目標 方策・手立て		生徒の評価項目	4段階 の平均	教師の評価項目	4段階 の平均	保護者の評価項目	4段階 の平均	学校考察	学校運営協議会より コメント	
挑戦	<p>出将 きし来 る、を 生そ見 徒の据 の実え、 育現、 成に学 向ぶ機 け会を 挑を戦 す分 るでこ 見とつ のけ</p> <p>1 ICT機器の効果的活用や魅力ある学習課題の提示 2 ねらいとまとめの整合性のある授業展開 3 目的が自覚できる学校行事や学年教育活動の実施</p>	①自分の進路や将来像を具体的に考えている。	2.88	①生徒が学びの意味を将来と結び付けられるよう支援している。	3.21	①学校は、子どもが「分かる・できる」ことを実感しながら学べるように授業を工夫し、学びを将来につなげて考えたり、自分の学びを振り返ったりできるようにしている。	3.01	<p>○ICT機器を活用した学習が増えており、生徒の意欲向上につながっている。</p> <p>○新たなことに挑戦することに前向きであり、挑戦するチャンスの場も多くある。学校行事や生徒会活動が活発に行われている、綾中の強みだと考える。</p> <p>●授業内で、達成感を感じさせたり、自分を振り返ったりさせることが不十分である。授業改善に向けた研修を継続し、校内研究も充実させていきたい。</p> <p>●自信をもって発言できている生徒が少ない。学校行事やボランティア活動など、自分の考えを発信するチャンスは多くあるため、生徒会など固定されたメンバーだけでなく、多くの生徒にチャンスを与えていきたい。</p>	<p>・学校参観時に授業等におけるICT機器活用に驚きました。先生方もICT機器を効果的に活用され生徒に分かりやすい指導が行われてると感じました。</p> <p>・生徒がICT機器に意欲的に取り組み学んだことを積極的に発言、発表する綾中生となることを期待しています。</p> <p>・3項目の中で、「挑戦」が生徒と教師の評価差が大きいのが気になる。今後の授業改善の取組みを期待したい。</p> <p>・ICT機器の活用については、さらに充実させ、学力向上につながる授業改善を進めてもらいたい。</p> <p>・生徒がそれぞれの得意分野で発言の機会をもち、自信をつけてほしい。</p> <p>・小さい頃から、大人、教師主導の計画が多い日本全体。自信のない子どもが多い。誰かに頼りがちな面が点数に表われている。中学校は少しずつ取り組まれていると思いますが、家庭、地域社会も含めて全体が伸びてほしいです。</p> <p>・自信をもつためには、様々な経験をもち、その一つ一つに自分の考えをもち、進めていく。繰り返し実行することで1人でも大丈夫となるでしょう。</p>	
		②授業で学ぶことが分かり、できるようになってきていると感じている。	2.99	②学力向上につながる授業改善に継続して取り組んでいる。	3.43					
		③授業のめあてを意識して学び、自分の学びを振り返ることができている。	2.85	③授業のめあてを提示し、まとめや振り返りを日常的に取り入れている。	3.50	②学校は、目的に応じてICT機器(タブレット、電子黒板等)を使いながら学ぶ授業に取り組んでいる。	3.37			
		④学びの目的に応じて、ICT機器の使い方を自分で工夫している。	3.25	④生徒が目的に応じてICT機器を使えるような授業に取り組んでいる。	3.50					
		⑤自分の考えをもち、自信をもって発言している。	2.85	⑤生徒指導の3機能を意識した授業に取り組んでいる。	3.29	③学校は、子どもが自分の考えをもち、自信をもって発言できるような雰囲気づくりや働きかけを行っている。	3.00			
		⑥自分の課題に挑戦し、あきらめなく努力している。	3.06	⑥努力を励まし、挑戦が続くよう関わり方を工夫している。	3.50	④学校は、子どもが困難にも挑戦したり、新しいことに取り組んだりできるよう励ましたり支えたりしている。	3.04			
		⑦うまくいくか分からなくても、新しいことにチャレンジしようとしている。	3.05	⑦新しいことに挑戦できる場を授業や様々な活動に組み込んでいる。	3.43					
自律	<p>あ配分 る慮の 行動を を考え とら るを ず明 こ、確 と自 の分 も で き 判 な る 断 が 生 し ら 徒 も の 責 任 り 成 の へ</p> <p>1 時と場所と場面に応じた挨拶、服装、言動の実践化 2 生徒の自己決定を促し、自己肯定感を育む場の設定 3 メディアコントロールを意識した健康生活の充実</p>	⑧規則正しい生活を送ることができている。	3.05	⑧生活習慣の安定に向けた声かけや日常的な指導を継続している。	3.50	⑤学校は、子どもが規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、日常的な指導や声かけを行っている。	3.27	<p>○学校行事や生徒会活動に関する評価が高い。綾町の教育資源を活用しながら、引き続き自律した生徒の育成に努めたい。</p> <p>○健康に関する意識が高い。心の天気や相談窓口の設置したり、定期的な保健教育をしたりと、心と体の健康について考えさせる機会を多く取っている成果であると考えます。</p> <p>●挨拶について、一定の評価を得ているものの、学校の課題として上がることが多い。挨拶の意義について考える機会を与えたり、地域との連携を図ったりして対策をしていきたい。</p> <p>●校則やルールについては、生徒と職員が一緒に考え議論する場を設定しているが、保護者や地域への周知についても検討していきたい。</p>	<p>・綾町の教育資源を活用した記事が新聞等で掲載されて、嬉しい限りです。</p> <p>・綾中生が学校行事、生徒会活動等に積極的に取り組んでいる。</p> <p>・⑫については、生徒・保護者・教師ともに、高い評価であるが、学校考察にあるように、学校の課題であると思うので、今後の取組みに期待したい。</p> <p>・学校・保護者・地域の三位一体となった「あいさつ運動の推進」を広報あや、学校便り等に掲げ、町民みんなであいさつの輪を広げられたらいいです。</p> <p>・「メディアコントロールを意識した健康生活の充実」が方策・手立てにある。これを受けたより具体的な評価項目があるとよいと思う。</p> <p>・保護者の送迎車の乗入れについて改善が必要である。登校時は、車が並び事故が発生してもおかしくない状況であると思う。</p> <p>・校外での生徒の様子は落ち着いており好感が持てます。ただ、挨拶されてするのではなく、自ら先に挨拶出来る生徒になって欲しいです。</p> <p>・規則正しい生活や自分の心と体の健康に対する意識が高いことはとても大切なことで、定期的な保健教育や心と体の健康について考えさせる機会を多く取って頂いている成果を知り、嬉しいです。</p> <p>・挨拶ができる子は評価されるので、「ただすればいい」の上を目指してほしい。</p> <p>・校則は、理由も説明して理解させてあげてほしい。</p>	
		⑨自分の心とからだの健康を自分で守ろうとしている。	3.32	⑨健康観察や対話を通して、生徒の健康意識を育てている。	3.36	⑥学校は、子どもが健康を大切にしようとする気持ちを育てるために、日々の声かけや健康観察、保健指導を丁寧に行っている。	3.27			
		⑩学校行事や生徒会活動などで積極的に行動している。	3.04	⑩学校行事などを通して成長が促せるよう、役割と活動に工夫を凝らしている。	3.43	⑦学校は、子どもが学校行事や生徒会活動などに主体的に取り組めるように、役割や関わり方の工夫をしている。	3.30			
		⑪校則やルールの意味を理解し、自分で守ろうとしている。	3.39	⑪校則の意味を伝えることができ、生徒が納得して守れるようにしている。	3.36	⑧学校は、校則やルールの意味を子どもに丁寧に伝え、納得して守れるようにしている。	3.07			
		⑫気持ちのよいあいさつや返事をしている。	3.23	⑫あいさつや礼儀の手本を示し、ともに心地よい関係を築いている。	3.43	⑨学校は、あいさつや礼儀の大切さを日々の生活の中で繰り返し伝えている。	3.26			
		⑬自分で考えて、やるべきことを判断し行動している。	3.23	⑬判断と行動を生徒に委ね、自主性を引き出す場をつくっている。	3.14	⑩学校は、子どもが自分で考えて判断し、行動できるようにする機会や場面を意識的に設けている。	3.19			
貢献	<p>せし会愛 るてに着 こ自貢を と分献も の自すち で身る、 きをこ地 る成と域 生長をや 徒さ通社</p> <p>1 てるはの時間(総合的な学習)の充実 2 各種ボランティア活動等への積極的参加 3 地域や家庭、関係諸機関等と連携した教育活動の推進</p>	⑭地域行事やボランティア活動に積極的に参加している。	2.72	⑭地域行事やボランティア活動への参加を後押ししている。	3.64	⑪学校は、地域の行事やボランティア活動に子どもが関わられるよう、参加の機会や働きかけを行っている。	3.55	<p>○綾町は、教育資源が豊富にあり、地域の方々も非常に協力的なため、総合的な学習の時間を充実させることができている。各教科の学びと体験活動につながりをもたせ、事前事後学習にも力を入れることで、さらに充実した学びにさせていきたい。</p> <p>●子ども会や町行事への自主的な参加についても、生徒が参加しやすい環境作りや、魅力発信を通して促していきたい。</p>	<p>・地域行事やボランティア等、あらゆる機会での生徒の積極的な参加が見られ、素晴らしいです。</p> <p>・⑭については、生徒と教師の差(0.92)、生徒と保護者の差(0.83)と最も大きい。生徒にとっては、やらされている感が強いのではないかと。事前・事後の指導を含め、意義や参加しやすい環境作りをさらに進めてもらいたい。</p> <p>・少子高齢化となった地域の中に生徒達が自主的に地域の行事等参加してくれることを地域は待っています。地域に入ることでまた、学ぶことも多いと思います。</p> <p>・特に「命を守る」防災訓練等中学生の若い力を是非借りたいです。</p> <p>・マラソン大会などのボランティア活動に積極的に参加している姿を頼もしく思います。地区活動や地域行事に文化の継承者として参加したくなるような仕掛けをどう作っていくか、私たち大人に問われているところも多いと感じました。</p> <p>・中学校の先生と子ども会で情報や労力を協力共有させてもらえるとうり難い。</p>	
		⑮任された仕事に責任をもって取り組み、自分の役割を果たしている。	3.28	⑮各種委員会や係の仕事などを自分で果たせるよう支えている。	3.54	⑫学校は、子どもが委員会や係の仕事に責任をもって取り組めるよう支援している。	3.55			
		⑯地域や家庭、外部の人と関わる活動に前向きに参加し、自分のできることを実行している。	3.03	⑯地域や家庭、関係機関と協働した活動を通して、生徒が社会とのつながりを実感できるよう働きかけしている。	3.43	⑬学校は、地域や家庭、外部の人々と連携した活動を通して、子どもが社会とのつながりを学べるようにしている。	3.31			